

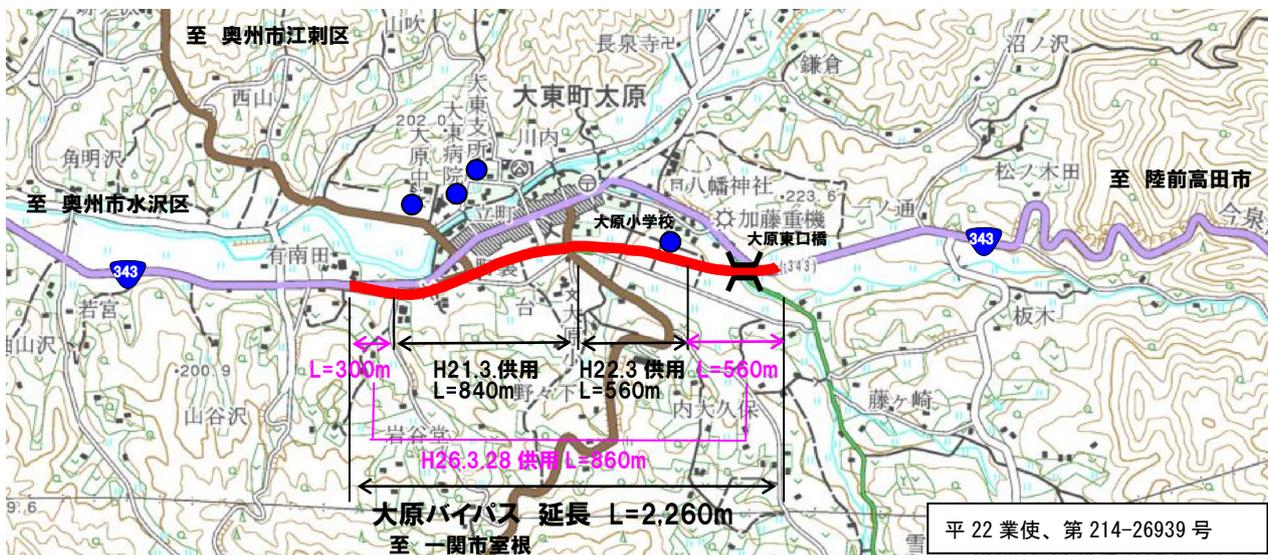
一般国道343号「大原バイパス」全線開通

～ 東日本大震災津波からの復興を加速させる復興支援道路の開通 ～

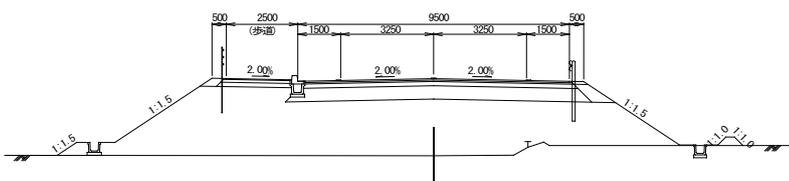
一関土木センター
道路建設課

平成26年3月28日（金）に、「一般国道343号大原バイパス」が、全線開通しました。

平成14年度に事業着手し、平成20年度に西側の840mの区間を部分供用するなど、逐次部分供用を図りながら、全線開通に向けて整備を進めてきましたが、事業開始から12年の歳月をかけて大原バイパス全区間を供用することができました。



標準断面図



路線名:	一般国道343号
区間:	一関市大東町大原字稗の沢 ～一関市大東町大原字上一ノ通
延長:	L=2,260m
幅員:	W=6.5(12.0)m
設計速度:	V=60km/h

【大原東口橋の橋名版揮毫】

大原バイパス沿道の大原小学校 6年生に大原東口橋の橋名版への揮毫を依頼し、平成26年3月12日に4名の生徒に、感謝状、文鎮（橋名版を縮小したもの）及び写真を贈呈しました。



【開通式】

県南広域振興局土木部長の式辞に引き続き、一関市長、県議会議員等来賓者などによるテープカット及びくす玉割りを行いました。その後、交通安全祈願を行い、開通式典終了後は、警察車両を先頭にパレードを行いました。



県南広域振興局土木部長式辞



テープカット及びくす玉割り



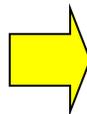
交通安全祈願



パレード

【開通による効果】

現道は、幅員狭小で、歩道がないなど、交通安全上の課題がありましたが、バイパス開通により通過交通の分散が図られました。



今回開通した「大原バイパス」は、県が復興支援道路として位置付けた国道343号の一部区間であり、東日本大震災津波により被災した沿岸地域の日も早い復興の支援に必ずつながるものと期待しています。